

北海道厚生局長 殿

開設者名 国立大学法人旭川医科大学
学長 吉田 晃 敏

旭川医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	30.4人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	218 人	123 人	315.9人	看護補助者	56 人	診療エックス線技師	0 人
歯 科 医 師	5 人	5 人	9.0人	理学療法士	8 人	臨床検査技師	46 人
薬 剤 師	26 人	12 人	38.0人	作業療法士	3 人	衛生検査技師	0 人
保 健 師	0 人	0 人	0.0人	視能訓練士	12 人	その他	0 人
助 産 師	18 人	1 人	18.7人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看 護 師	573 人	61 人	617.4人	臨床工学技士	11 人	医療社会事業従事者	4 人
准 看 護 師	0 人	0 人	0.0人	栄 養 士	0 人	その他の技術員	5 人
歯科衛生士	0 人	1 人	1.0人	歯 科 技 工 士	2 人	事 務 職 員	94 人
管理栄養士	4 人	4 人	8.0人	診療放射線技師	31 人	その他の職員	44 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	476.8人	4.1人	480.9人
1日当たり平均外来患者数	1,471.6人	43.5人	1,515.1人
1日当たり平均調剤数	879剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 早期大腸がん(2cm以上の病変)に対して、内視鏡にて病変周囲の粘膜を切開し一括切除する。			
医療技術名	内視鏡下頸部腫瘍摘出術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 頸部腫瘍に対して、内視鏡補助下において摘出する。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	67人	・膿疱性乾癬	11人
・多発性硬化症	39人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・重症筋無力症	28人	・原発性胆汁性肝硬変	49人
・全身性エリテマトーデス	207人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	43人
・再生不良性貧血	11人	・混合性結合組織病	19人
・サルコイドーシス	104人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	6人	・特発性間質性肺炎	10人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	164人	・網膜色素変性症	35人
・特発性血小板減少性紫斑病	30人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	45人	・肺動脈性肺高血圧症	4人
・潰瘍性大腸炎	217人	・神経線維腫症	8人
・大動脈炎症候群	17人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ピュルガー病	43人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	13人	・慢性血栓性肺高血圧症	2人
・脊髄小脳変性症	33人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	139人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	14人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	86人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	10人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1人
・後縦靭帯骨化症	46人	・肥大型心筋症	96人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	3人	・ミトコンドリア病	1人
・ウェゲナー肉芽腫症	18人	・リンパ管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	37人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	16人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	47人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

1 研究費補助等の実績

通番	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元名	備考
1	「オール北海道先進医学・医療拠点形成」(治験段階に移行する基礎研究の創出)	吉田 晃敏	学長	45,631	研究開発施設共用等促進費補助金	
2	Telmedicineを用いた遠隔医療の研究	吉田 晃敏	学長	1,500	国立成育医療研究センター	
3	熱ショック蛋白と酸化的DNA塩基損傷修復による心血管リモデリング抑制の研究	長谷部 直幸	第一内科	1,170	科学研究費助成事業	継続
4	障害血管リモデリングおよび血管外膜微小血管新生における神経再生因子の役割	川辺 淳一	第一内科	910	科学研究費助成事業	
5	熱ショック蛋白を介するポストコンディショニングの心保護効果	竹内 利治	第一内科	1,560	科学研究費助成事業	継続
6	DNA修復機構APE-1の心筋幹細胞に対する細胞機能再生及び虚血耐性に対する効果	竹原 有史	第一内科	3,250	科学研究費助成事業	
7	「胎心臓幹細胞と人工心臓の不連続試験」(心臓移植の代替療法としての心臓幹細胞移植と人工心臓の併用治療)	竹原 有史	第一内科	7,759	研究開発施設共用等促進費補助金	
8	研究費補助事業「胎心臓幹細胞移植による新生児心臓機能再生の創出」	川辺 淳一	第一内科	1,700	科学研究技術振興機構	
9	マウス心臓由来Soal-1陽性細胞からのpreprograming細胞の樹立及び心筋分化因子の探索	竹原 有史	第一内科	1,000	公財) 兼原記念財団	
10	shor-t-form GIPRの分泌機構および糖代謝改善機序を解明する	藤田 征弘	第二内科	2,210	科学研究費助成事業	
11	免疫細胞制御における低酸素応答性転写因子群の役割の解明と炎症性疾患治療への応用	牧野 雄一	第二内科	2,210	科学研究費助成事業	
12	新しい診断手法の肺癌検診への応用とこれを用いた肝臓癌の早期発見と多施設共同研究	麻生 和信	第二内科	0	NP0法人 日肝がん臨床研究機構	継続
13	炎症性腸疾患バイオフィルム微生物由来活性物質を介した粘膜保護作用の解析とその制御	高後 裕	第三内科	3,640	科学研究費助成事業	
14	慢性肝障害と鉄代謝調節異常の病態オーバーラップの分子メカニズム解析	大竹 孝明	第三内科	650	科学研究費助成事業	
15	高周波微細血流イメージによる「肝癌抗血管新生療法」のモニタリングシステムの開発	鈴木 康秋	第三内科	1,040	科学研究費助成事業	
16	腸がん自然発症マウスによる「骨髄攪乱」を介した悪性化機構の解明とその制御	水上 裕輔	第三内科	1,300	科学研究費助成事業	
17	細胞膜有機イオン輸送体および接着分子による新規微生物認識機構の解明と腸炎への関与	藤谷 幹浩	第三内科	2,470	科学研究費助成事業	
18	新規鉄代謝指標・生体内不安定鉄NTBIの革新的測定法開発・実用化研究及び臨床応用	佐々木 勝則	第三内科	2,600	科学研究費助成事業	
19	ヘプシンン発現調節における生体内鉄感知機構の解明	生田 克哉	第三内科	780	科学研究費助成事業	継続
20	遺伝子変異が自然発症マウスからの前癌病変初代細胞の樹立とその悪性化	笹島 順平	第三内科	2,210	科学研究費助成事業	
21	新規鉄輸送促進剤によるHIF-1 α 抑制作用とその肝癌治療効果の解析	田中 宏樹	第三内科	1,560	科学研究費助成事業	
22	腸肝軸におけるTILシグナルの変化がもたらすNAFLD病態の解析	澤田 康司	第三内科	1,560	科学研究費助成事業	
23	ヒトIPAM由来異形管を用いた降癌発症リスク評価とIPAMの生物学的解明	小泉 徹	第三内科	1,430	科学研究費助成事業	
24	EPCAM+初代培養腺管を用いた降がん薬剤感受性因子のプロファイリング	河本 徹	第三内科	1,430	科学研究費助成事業	
25	Paneth細胞幹細胞保護因子を用いた培養上皮移植による炎症性腸疾患治療法の開発	田邊 裕貴	第三内科	1,690	科学研究費助成事業	
26	初回IS-1療法に治療抵抗性を示した進行・再発胃癌に対する二次化学療法-QP-11単剤療法 vs TS-1+QP-11併用療法 vs TS-1+QP-11併用療法+比較薬品/II相臨床試験	高後 裕	第三内科	0	特非 日本がん臨床試験推進機構	継続
27	新しい診断手法の肺癌検診への応用とこれを用いた肝臓癌の早期発見と多施設共同研究	鈴木 康秋	第三内科	20	NP0法人 日肝がん臨床研究機構	継続
28	地域イノベーション・クラスタプログラム「養育乳癌の腸管組織に対する生理活性の解明と健康食品開発」	高後 裕	第三内科	14,000	財) 北海道科学技術総合振興センター	
29	HER2陽性・65歳以上の癌再発患者に対するティーンズワットプログラム「養育乳癌の腸管組織に対する生理活性の解明と健康食品開発」	高後 裕	第三内科	0	特非 日本がん臨床試験推進機構	
30	睡眠医療及び睡眠研究用プラットフォームを用いた遠隔睡眠医療の有効性検証	千葉 茂	精神科神経科	700	国立精神・神経医療研究センター	
31	ラットを用いたせん妄の神経生理学的研究	田村 義之	精神科神経科	1,040	科学研究費助成事業	
32	発達期脳に及ぼすせん妄の発生の影響一皮質形成異常を有するモデル動物を用いた研究一	高橋 梧	小児科	1,300	科学研究費助成事業	
33	GnRHニューロンにおける思春期発来調節因子の新規機能解析と時間生理学的研究	棚橋 祐典	小児科	780	科学研究費助成事業	
34	新生児糖尿病の網羅的な病因・病態の解明と分子診断アルゴリズムの作成	鈴木 滋	小児科	1,430	科学研究費助成事業	
35	次世代DNA解析システムを用いた肺高血圧治療薬の有効性と遺伝子多型の関連の検討	杉本 昌也	小児科	1,300	科学研究費助成事業	
36	新規内因性血管・リンパ管新生抑制因子の発現・転写に関する機能解析	齋藤 幸裕	第一外科	1,950	科学研究費助成事業	継続
37	原発性リンパ浮腫全国調査を基礎とした治療指針の作成研究	笹嶋 唯博	第一外科	10,000	厚生労働科学研究費補助金	
38	静脈グラフト内膜厚発生機序の解明	河野 恒	第一外科	1,430	科学研究費助成事業	
39	大連中湯によるクロロ厚発生機序の再評価	内田 透	第二外科	130	科学研究費助成事業	
40	心停止下肝移植への臨床応用をめざした肝クラフト灌流保存法の開発	古川 博之	第二外科	2,340	科学研究費助成事業	
41	初回IS-1療法に治療抵抗性を示した進行・再発胃癌に対する二次化学療法-QP-11単剤療法 vs TS-1+QP-11併用療法+比較薬品/II相臨床試験	星 智和	第二外科	0	特非 日本がん臨床試験推進機構	継続
42	「治療抵抗性(Stage)を改善させたフルビドピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法に関するコホート研究」(研究発表:B-CAS)	河野 透	第二外科	0	財) 先端医療振興財団	継続
43	股関節包と股関節唇の関節軟骨保護機能に関する生体力学的研究	伊藤 浩	整形外科	390	科学研究費助成事業	
44	神経性間欠跛行を再評価するfictive実験モデルの開発	納田 裕司	整形外科	2,860	科学研究費助成事業	
45	乾燥表皮における細胞内情報伝達機構を介する増殖と分化制御の研究	飯塚 一	皮膚科	3,900	科学研究費助成事業	
46	皮膚自然免疫応答機構からみた掌蹠膿疱症の発症機序に関する研究	村上 正基	皮膚科	1,300	科学研究費助成事業	
47	表皮角化細胞および乾癬病表皮におけるポドプラニン分子の機能解析	本間 大	皮膚科	1,300	科学研究費助成事業	

1 研究費補助等の実績

通番	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元名	備考
48	高度医療技術開発推進プログラム「ファイブシフト・システム」による睡眠・覚醒機能異常の関連メカニズムの解明	松本 成史	腎泌尿器外科	1,000	科学技術振興機構	
49	夜尿症と睡眠・覚醒機能異常の関連メカニズムの解明	松本 成史	腎泌尿器外科	1,400	日本夜尿症学会	
50	ラット下部尿路閉塞モデルに対する抗血小板剤の膀胱血流および膀胱機能保護効果	松本 成史	腎泌尿器外科	728	科学研究費助成事業	
51	2型糖尿病患者の網膜循環へのアディポサイトカインの影響と薬学的な網膜症治療法の確立	長岡 泰司	眼科	1,300	科学研究費助成事業	
52	特異的T細胞同定によるフォークト・小柳・原田病の診断法の確立	木ノ内 玲子	眼科	1,040	科学研究費助成事業	
53	プロレニンを標的とした糖尿病網膜症の新規治療法の開発	橋本 陽匡	眼科	1,950	科学研究費助成事業	
54	糖尿病網膜症に対する汎網膜光凝固術の眼循環測定による治療効果判定の検討	高橋 淳士	眼科	780	科学研究費助成事業	継続
55	シニアアトロシスの網膜血管内皮機能に及ぼす影響	石羽澤 明弘	眼科	3,380	科学研究費助成事業	
56	糖尿病網膜症の早期発見と早期介入および治療	石川 健司	眼科	1,690	科学研究費助成事業	
57	高分子重鎖抗体を標的とした頭頸部扁平上皮癌に対する抗体療法の研究	片山 昭公	耳鼻咽喉科	1,300	科学研究費助成事業	
58	扁桃腺癌における病態解明と扁桃摘出術の有用性に関する基礎的エビデンス	高原 幹	耳鼻咽喉科	1,950	科学研究費助成事業	
59	電気刺激による内喉頭筋の再運動化と筋萎縮の抑制に関する研究	片田 彰博	耳鼻咽喉科	2,210	科学研究費助成事業	
60	鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるmiRNAの発現	岸部 幹	耳鼻咽喉科	2,210	科学研究費助成事業	
61	鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるケモカインおよびケモカインレセプターの解析	長門 利純	耳鼻咽喉科	2,600	科学研究費助成事業	
62	平成22年度子どもと母親の健康と環境に関する全国調査北海道ユニットセンター委託業務	千石 一雄	産科婦人科	21,849	国立大学法人北海道大学	
63	赤外線照射による皮膚温度の低下と皮膚血管拡張の促進に関する研究	宮本 敏伸	産科婦人科	1,300	科学研究費助成事業	
64	生体細胞特異的発現遺伝子GCLRRファミリーの機能解析	堀川 道晴	産科婦人科	1,560	科学研究費助成事業	
65	精子形成遺伝子群の網羅的解析による精子形成メカニズムの解明	千石 一雄	産科婦人科	3,250	科学研究費助成事業	
66	不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊娠性向上に関する研究	千石 一雄	産科婦人科	803	北海道知事	
67	血管リモデリング形成における内因性プロスタノイドの役割解明	高畑 治	麻酔科蘇生科	1,040	科学研究費助成事業	
68	妊娠に伴う内因性鎮痛機序の薬理学的・薬理学的機序と臨床応用への検討	岩崎 寛	麻酔科蘇生科	1,040	科学研究費助成事業	
69	皮膚電位時間一周波数/相関解析による脳機能ネットワークと出力デバイスとの融合	鎌田 恭輔	脳神経外科	1,560	科学研究費助成事業	
70	マルチモーダルイメージングの融合と術中MRIを用いたナビゲーション装置の開発	鎌田 恭輔	脳神経外科	2,470	科学研究費助成事業	
71	新規ナビゲーションシステムの開発と術中MRIを用いたナビゲーション装置の開発	鎌田 恭輔	脳神経外科	1,500	国立がん研究センター	
72	脳機能画像と多チャンネルLelectrooculogram融合による言語機能関連BMMIの開発	鎌田 恭輔	脳神経外科	12,610	科学技術振興機構	
73	言語・記憶機能画像と脳皮質電位画像融合によるヒト脳機能ネットワークの解明	鎌田 恭輔	脳神経外科	1,000	公財) 寿原記念財団	
74	脳皮質電位と白質画像融合による顔・表情認知システムの解明	鎌田 恭輔	脳神経外科	3,640	科学研究費助成事業	
75	赤外線センサを用いた嚥下解析装置の開発に関する研究	小神 順也	歯科口腔外科	650	科学研究費助成事業	
76	麻酔プレコンディショニングがミトコンドリアオキシゲンチャネルに与える影響	丹保 亜希仁	救急科	2,600	科学研究費助成事業	
77	PPARYligandと消化管運動の連関	奥村 賀勝	総合診療部	910	科学研究費助成事業	継続
78	睡眠覚醒リズムと消化管運動の連関	大平 賀勝	総合診療部	2,600	科学研究費助成事業	
79	HGFがヒト膵臓細胞のMMMP-9発現に及ぼす影響～出血後水頭症の治療開発に向けて	岡本 年男	周産母子センター	1,170	科学研究費助成事業	継続
80	化学療法による肺がん患者の免疫応答と免疫抑制効果の検証	大崎 能伸	呼吸器センター	0	特非) 西日本がん研究機構	継続
81	エイズ診療向上に関する調査研究	大崎 能伸	呼吸器センター	4,096	北海道知事	
82	ALK融合遺伝子陽性肺癌におけるALK阻害薬耐性機序の解明	佐々木 高明	呼吸器センター	1,000	公財) 小林がん学術振興会	
83	Namt inhibitorによる肺癌増殖抑制効果の検証	奥村 俊介	呼吸器センター	2,470	科学研究費助成事業	
84	化学療法による肺がん患者の免疫応答と免疫抑制効果の検証	大崎 能伸	呼吸器センター	630	特非) 西日本がん研究機構	継続
85	進行再発肺癌におけるゲフィチニブとエルロチニブとのランダム化第Ⅲ相試験 (N0065108L)	大崎 能伸	呼吸器センター	210	特非) 西日本がん研究機構	継続
86	骨髄由来内皮前駆細胞におけるプロスタノイドの包括的役割解明	阿部 泰之	緩和ケア診療部	800	特非) 日本がん研究協力財団	継続
87	骨髄由来内皮前駆細胞におけるプロスタノイドの包括的役割解明	岡田 基	緩和ケア診療部	390	科学研究費助成事業	継続
88	血管外科患者における塩酸ランゾピロロールの薬物動態研究	國澤 卓之	手術部	390	科学研究費助成事業	
89	新規の抗パーキンソン病作用を有するオキシカム系骨格医薬品の開発	田崎 嘉一	薬剤部	1,040	科学研究費助成事業	

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	Hypertension Research (2011 . 5)	Potential impact of rennin-angiotensin system inhibitors and calcium channel blockers on plasma high-molecular weight adiponectin levels in hemodialysis patients	中川 直樹	第一内科
2	Circulation Journal (2011 . 5)	Ischemic preconditioning Effect of Prodromal Angina Is Attenuated in Acute Myocardial Infarction Patients With Hypertensive Left Ventricular Hypertrophy	竹内 利治	第一内科
3	International Journal of Cardiology (2011 . 5)	Diagnosis of IgG4-related systemic disease by cytology of large pericardial effusion with fine needle aspiration	鹿原 真樹	第一内科
4	Circulation Journal (2011 . 6)	Approach to Gender Differences in Cardiovascular Events in Patients With Diabetes	川村 祐一郎	第一内科
5	Circulation Journal (2011 . 6)	Present Status of Anticoagulation Treatment in Japanese Patients With Atrial Fibrillation—A Report From the J-RHYTHM Registry	川村 祐一郎	第一内科
6	Int Heart J (2011 . 9)	Clinical and genetic investigation of a Japanese family with cardiac fabry disease	中川 直樹	第一内科
7	Am J Physiol Heart Circ Physiol (2011 . 12)	Cardiac regeneration therapy:connections to cardiac physiology	竹原 有史	第一内科
8	Hypertens Res (2011 . 12)	Angiotensin II receptor blocker and long-acting calcium channel blocker combination therapy decreases urinary albumin excretion while maintaining glomerular filtration rate.	中川 直樹	第一内科
9	J Stroke Cerebrovasc Dis (2011 . 6)	Cerebrovascular Disease and Intracranial Artery Stenosis in Patients with Symptomatic Peripheral Artery Disease.	片山 隆行	第一内科
10	Diabetes 60(3):981-992 2011	Tubular injury in a rat model of type 2 diabetes is prevented by metformin: a possible role of HIF-1 α expression and oxygen metabolism.	滝山 由美	第二内科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
11	J diabetes Invest 2: 255-257 2011	Insulin in podocyte podiatry.	牧野 雄一	第二内科
12	Gut (H23年4月)	An unusual elevated lesion of the oesophagus.	澤田 康司	第三内科
13	Inflammatory Bowel Diseases (H23年4月)	Cytokine Regulation of OCTN2 Expression and Activity in Small and Large Intestine.	藤谷 幹浩	第三内科
14	日本消化器病学会雑誌 (H23年4月)	【小腸の消化吸収機構とその異常】消化吸収障害とカプセル内視鏡.	藤谷 幹浩	第三内科
15	Dis Colon Rectum (H23年5月)	A New Antimesenteric Functional End-to-End Handsewn Anastomosis: Surgical Prevention of Anastomotic Recurrence in Crohn's Disease.	岡本 耕太郎	第三内科
16	BMJ Case Reports (H23年5月)	Atypical tumour-like involvement of the colon in Henoch-Schonlein purpura successfully treated with the administration of factor XIII.	安藤 勝祥	第三内科
17	J Clin Gastroenterol (H23年6月)	Endoscopic auto-fluorescence imaging is useful for the differential diagnosis of intestinal lymphomas resembling lymphoid heyperplasia.	上野 伸展	第三内科
18	Colonoscopy/Book 1, Edited by Paul Miskovitz, InTech, Rijeka (Croatia) 2011 (H23年8月)	Autofluorescence imaging for diagnosing intestinal disorders.	藤谷 幹浩	第三内科
19	Case Reports in Medicine (H23年8月)	Octreotide-treated diabetes accompanied by endogenous hyperinsulinemic hypoglycemia and protein-losing gastroenteropathy.	藤谷 幹浩	第三内科
20	PloS One (H23年8月)	Probiotic-derived polyphosphate enhances the epithelial barrier function and maintains intestinal homeostasis through integrin-p38 MAPK pathway.	藤谷 幹浩	第三内科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
21	Mol Med Reports (H23年9月)	Improved quantification for non-transferrin-bound iron measurement using high-performance liquid chromatography by reducing iron contamination.	佐々木 勝則	消化管再生修復医学講座
22	Gastritis and Gastric Cancer - New Insights in Gastroprotection, Diagnosis and (H23年9月)	Effects of Helicobacter pylori infection on the histology, cellular phenotype, K-ras mutations, and cell kinetics in gastric intestinal metaplasia in patients with chronic gastritis and gastric cancer.	田邊 裕貴	第三内科
23	Gut (H23年10月)	Obscure gastrointestinal bleeding occurring 50 years after an appendectomy.	嘉島 伸	第三内科
24	Digestive Endoscopy (H23年10月)	Endoscopically treated cronkhite-Canada syndrome associated with minute intramucosal gastric cancer: an analysis of molecular pathology.	盛一 健太郎	第三内科
25	Endoscopy (H23年10月)	The diagnostic accuracy of high-resolution endoscopy, autofluorescence imaging and narrow-band imaging for differentially diagnosing colon adenoma.	藤谷 幹浩	第三内科
26	Inflammatory Bowel Diseases (H23年11月)	Heat-killed body of Lactobacillus brevis SBC8803 ameliorates intestinal injury in a murine model of colitis by enhancing the intestinal barrier function.	藤谷 幹浩	第三内科
27	Clin Chim Acta (H23年11月)	Interference of deferasirox with assays for serum iron and serum unsaturated iron binding capacity during iron chelating therapy.	生田 克哉	第三内科
28	血液専門医テキスト (日本血液学会編集) p151-153, 2011. 11 (南江堂) (H23年11月)	鉄欠乏性貧血	生田 克哉	第三内科
29	J Gastroenterol. (H23年11月)	Japan Study Group of Nonalcoholic Fatty Liver Disease. Platelet count for predicting fibrosis in nonalcoholic fatty liver disease.	高後 裕	第三内科
30	Endoscopy (H23年12月)	Recurrent lesion of mantle cell lymphoma in the sigmoid colon detected by endoscopic autofluorescence imaging.	生田 克哉	第三内科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
31	BBRC (H23年12月)	Suppression of lipin-1 expression increases monocyte chemoattractant protein-1 expression in 3T3-L1 adipocytes.	藤谷 幹浩	第三内科
32	BMC Gastroenterol. (H24年1月)	Japan Study Group of Nonalcoholic Fatty Liver Disease (JSG-NAFLD). Validation of the FIB4 index in a Japanese nonalcoholic fatty liver	高後 裕	第三内科
33	Food and Nutrition Sciences (H24年3月)	Effect of Lactobacillus brevis SBC8803 on Gamma-Glutamyl Transferase in Japanese Habitual Drinkers: A Double-Blind, Placebo-Controlled Study	大竹 孝明	第三内科
34	C型慢性肝炎に対する瀉血マニュアル2012(響文社) (H24年3月)	鉄代謝の生理	生田 克哉	第三内科
35	Int J Colorectal Diseases (H24年3月)	Autofluorescence imaging and the quantitative intensity of fluorescence for evaluating the dysplastic grade of colonic neoplasms.	盛一 健太郎	第三内科
36	Endoscopy (H24年3月)	A pseudosarcomatous lesion resembling a malignant tumor of the esophagocardiac junction diagnosed by a total biopsy with endoscopic surgery.	安藤 勝祥	第三内科
37	Int J Cancer (H24年3月)	Biomarkers predicting development of metachronous after endoscopic resection: an analysis of molecular pathology of Helicobacter pylori eradication.	盛一 健太郎	第三内科
38	日本内科学会雑誌 (H23年9月)	鉄代謝と鉄過剰	高後 裕	第三内科
39	精神神経学雑誌第113巻第9号 (平成23年9月25日)	医師の睡眠習慣に関する調査—勤務状況および生活習慣との関連性について—	田村 義之	精神科神経科
40	精神医学 (平成23年5月)	てんかんにみられる精神症状とその治療	千葉 茂	精神科神経科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
41	薬局 (平成23年9月5日)	睡眠薬と転倒・骨折との関連性	藤村 洋太	精神科神経科
42	こころの臨床 (平成23年11月14日)	眠りの科学—記憶の固定と睡眠:最新の知見から—	千葉 茂	精神科神経科
43	BRAIN and NERVE (平成23年4月)	てんかんをもつ女性のための包括的治療戦略	千葉 茂	精神科神経科
44	カレントセラピー (平成23年9月1日)	高齢者の不眠治療のコツ:特に夜間頻尿、フラツキ・転倒の対処法について	藤村 洋太	精神科神経科
45	睡眠医療 (平成23年10月31日)	睡眠関連てんかん	阪本 一剛	精神科神経科
46	American Journal of Medical Genetics 2012.08	Platyspondylic Lethal Dysplasia Torrance Type With a Heterozygous Mutation in the Triple Helical Domain of COL2A1 in Two Sibs From Phenotypically Normal Parents.	岡本 年男	小児科
47	Clinical Genetics (H23.12)	FOXG1 mutations in Japanese patients with the congenital variant of Rett syndrome	高橋 悟	小児科
48	BMJ Open 1: e000118 (平成23年7月)	Screening for Congenital Cytomegalovirus Infection Using Newborn Urine Samples Collected on Filter Paper: Feasibility and Outcomes from a Multi-centre Study.	古谷野 伸	小児科
49	J Clin Virol. 53: 265-267 (平成24年1月)	Sequential changes in pathophysiology of systemic inflammatory response in a disseminated neonatal herpes simplex virus (HSV) infection.	長森 恒久	小児科
50	Transplant Proc 2012.3	Experience using extended criteria donors in first 100 cases of deceased donor liver transplantation in Japan.	古川 博之	第二外科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
51	Dis Colon Rectum 2011.5	A new antimesenteric functional end-to-end handsewn anastomosis: surgical prevention of anastomotic recurrence in Crohn's disease.	河野 透	第二外科
52	World J Gastroenterol 2011.8	Endoscopic naso-pancreatic drainage for the treatment of pancreatic fistula occurring after LDLT.	谷口 雅彦	第二外科
53	Pancreas 2011.5	Localization of the most severely dysplastic/invasive lesions and mucin phenotypes in intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas.	唐崎 秀則	第二外科
54	Cell Transplant 2011.12	Replacement of liver parenchyma in analbuminemic rats with allogenic hepatocytes is facilitated by intrabone marrow-bone marrow transplantation.	古川 博之	第二外科
55	Case Reports in Gastroenterology 2011.4	Gastric cancer with a very high serum CA 19-9 level	谷口 雅彦	第二外科
56	Life Sci 2011.11	Polaprezinc prevents ongoing thioacetamide-induced liver fibrosis in rats	河野 透	第二外科
57	Diseases of the Colon and Rectum 2011.5	A new antimesenteric functional end-to-end handsewn anastomosis: Surgical prevention of anastomotic Recurrence in Crohn's disease	河野 透	第二外科
58	Brain Behav 2012.1	Oxaliplatin-induced neurotoxicity involves TRPM8 in the mechanism of acute hypersensitivity to cold sensation.	河野 透	第二外科
59	日本臨床外科学会雑誌 2011.4	小腸穿孔をきたしたChurg-Strauss症候群の1例	谷 誓良	第二外科
60	移植 2011.12	脳死肝移植アロケーションシステムと移植施設増設についての展望	古川博之	第二外科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
61	移植 2011.12	生体肝移植後の無気肺に対する腹臥位療法の効果	谷口 雅彦	第二外科
62	J Bone Joint Surg Am. 93:1347-54. (2011. Jul. 20)	Intermediate to long-term results of periacetabular osteotomy in patients younger and older than forty years of age.	伊藤 浩	整形外科
63	J Bone Joint Surg Br. 93:726-31. (2011. Jun.)	The Chiari pelvic osteotomy for patients with dysplastic hips and poor joint congruency: LONG-TERM FOLLOW-UP.	伊藤 浩	整形外科
64	Int Orthop. 35:1289-94. (2011. Sep.)	Hybrid total hip arthroplasty using specifically-designed stems for patients with developmental dysplasia of the hip: a minimum five-year follow-up study.	伊藤 浩	整形外科
65	J Arthroplasty. 26:236-43. (2011. Feb.)	Cemented calcar replacement femoral component in revision hybrid total hip arthroplasty	伊藤 浩	整形外科
66	J Bone Joint Surg Br 94:308-14. (2012. Mar.)	Long-term results of conventional varus half-wedge proximal femoral osteotomy for the treatment of osteonecrosis of the femoral head.	伊藤 浩	整形外科
67	J Bone Joint Surg Am. 93 (11):e60 (2011. Jul. 1)	Recurrent Posterior Dislocation of the Hip Treated with Periacetabular Osteotomy A Case Report.	山中 康裕	整形外科
68	Chemistry 286(27):23735-41. (2011. Jul. 6)	Polyubiquitination Events Mediate PMMA Particles Activation of NF-κB Pathway.	山中 康裕	整形外科
69	J. Spine Res. 3: 130-133 (2012. Apr. 3)	Epidemiology of Degenerative Lumbar Scoliosis: a Community Based Cohort Study.	神保 静夫	整形外科
70	Jpn J Ophthalmol (2011.5)	Indirect imaging of branch retinal vein occlusion using a scanning laser ophthalmoscope	石子 智士	眼科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
71	Cornea (2011.6)	Central Corneal Thickness Measurements With Fourier-Domain Optical Coherence Tomography Versus Ultrasonic Pachymetry and Rotating Scheimpflug Camera.	石羽澤 明弘	眼科
72	Am J Ophthalmol (2011.6)	Macular hole formation in fellow eyes with a perifoveal posterior vitreous detachment of patients with a unilateral macular hole.	高橋 淳士	眼科
73	Invest Ophthalmol Vis Sci (2011.11)	Effects of shear stress on the gene expressions of endothelial nitric oxide synthase, endothelin-1, and thrombomodulin in human retinal microvascular endothelial cells	石羽澤 明弘	眼科
74	Investigative Ophthalmology & Visual Science (2011.10)	Neuroprotection from retinal ischemia/reperfusion injury by NOX2 NADPH oxidase deletion	横田 陽匡	眼科
75	Journal of the renin angiotensin aldosterone system (2011.9)	Higher levels of prorenin predict development of diabetic retinopathy in patients with type 2 diabetes	横田 陽匡	眼科
76	JpnJ Ophthalmol (2011.9)	Pigmented squamous cell carcinoma in situ of the conjunctiva.	西川 典子	眼科
77	Invest Ophthalmol Vis Sci (2011.9)	Pioglitazone, a Peroxisome Proliferator-Activated Receptor- γ Agonist, Induces Dilation of Isolated Porcine Retinal Arterioles; Role of Nitric Oxide and Potassium	大前 恒明	眼科
78	眼科 (2011.12)	ステロイドパルス療法が奏効した後に長期経過で視力が低下した巨細胞動脈炎による前部虚血性視神経症	棚野 一郎	眼科
79	北海道医学雑誌 (2011.5)	実験糖尿病ラットの網膜血流に対するビタミンE投与の効果	籠川 浩幸	眼科
80	日本遠隔医療学会雑誌 (H23.10)	退院患者の遠隔フォローアップシステムの研究	亀山 大希	眼科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
81	日本遠隔医療学会雑誌 (H23.10)	遠隔医療支援システムを活用した眼科 医師教育システムの構築	花田 一臣	眼科
82	日本遠隔医療学会雑誌 (H23.10)	眼疾患における遠隔医療システムの有用性	山口 亨	眼科
83	日本遠隔医療学会雑誌 (H23.10)	地方病院から旭川医大入院前の患者 情報のVPNによる送付の有用性	木ノ内 玲子	眼科
84	日本遠隔医療学会雑誌 (H23.10)	退院患者向け遠隔在宅療養支援シス テムの患者による主観評価	三上 大季	医工連携総研 講座
85	日本遠隔医療学会雑誌 (H23.10)	眼科手術顕微鏡で撮影した立体HD動 画像の高品質伝送方法に関する検討	林 弘樹	医工連携総研 講座
86	Intern Med J (H23.11)	Right-sided pyriform sinus fistula	長門 利純	耳鼻咽喉科
87	Adv Otorhinolaryngol. (H23.8)	Clinical manifestations and pathogenesis of tonsillar focal diseases: IgA nephropathy and palmoplantar pustulosis.	原 保明	耳鼻咽喉科
88	Adv Otorhinolaryngol. (H23.8)	Recent changes in nasopharyngeal flora of children in Japan.	林 達哉	耳鼻咽喉科
89	Adv Otorhinolaryngol. (H23.8)	Clinical outcome of tonsillectomy for palmoplantar pustulosis and etiological relationship between palmoplantar pustulosis and tonsils.	高原 幹	耳鼻咽喉科
90	Int J Cancer. (H23.5)	Monocytes enhance cell proliferation and LMP1 expression of nasal natural killer/T-cell lymphoma cells by cell contact-dependent interaction through membrane-bound IL-15.	石井 秀幸	耳鼻咽喉科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
91	日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌 (H23.5)	7価肺炎球菌結合型ワクチン導入前の小児鼻咽腔細菌叢の検討	林 達哉	耳鼻咽喉科
92	喉頭 (H23.6)	シラカンバ花粉症患者における咽喉頭症状と喉頭アレルギー	片田 彰博	耳鼻咽喉科
93	喉頭 (H23.11)	披裂軟骨内転術	片田 彰博	耳鼻咽喉科
94	喉頭 (H23.11)	機能的電気刺激の有効性	國部 勇	耳鼻咽喉科
95	喉頭 (H23.11)	コルヒチンが有効であった再発性多発性軟骨炎の1例	大高 隆輝	耳鼻咽喉科
96	日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌 (H23.5)	口腔咽頭感染から血栓性内頸静脈炎をきたした2症例	小林 祐希	耳鼻咽喉科
97	耳鼻咽喉科臨床 (H24.3)	喉頭浮腫を伴った流行性耳下腺炎の4例	熊井 琢美	耳鼻咽喉科
98	耳鼻咽喉科臨床 (H24.1)	鼻副鼻腔腺系癌例の臨床的検討	東谷 敏孝	耳鼻咽喉科
99	耳鼻咽喉科臨床 (H23.7)	気道確保を必要とした小児急性喉頭蓋炎の2例	東谷 敏孝	耳鼻咽喉科
100	J Assist Reprod Genet (H23)	Single nucleotide polymorphism in the UBR2 gene may be a risk factor for Japanese patients with azoospermia by meiotic arrest	宮本 敏伸	産科婦人科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
101	J Obstet Gynaecol Res (H24)	Pandemic (H1N1)2009 in pregnant Japanese women in Hokkaido	千石 一雄	産科婦人科
102	Adv Urol (H24)	Male infertility and its causes in human	宮本 敏伸	産科婦人科
103	J Assist Reprod Gene (H24)	Single nucleotide polymorphisms in the SEPTIN12 gene may be associated with azoospermia by meiotic arrest in Japanese men.	宮本 敏伸	産科婦人科
104	J Andrology (H24)	Single-nucleotide polymorphisms in the SEPTIN12 gene may be a genetic risk factor for Japanese patients with sertoli cell only syndrome	宮川 博栄	産科婦人科
105	Japanese Journal of Radiology (2011,10)	Absent skeletal uptake of 99m Tc-hydroxymethylene-diphosphonate in the presence of AL-type amyloidosis associated with multiple myeloma	佐々木 智章	放射線科
106	American Journal of Neuroradiology (2012,2)	Immunoglobulin G4-Related Sclerosing Disease Mimicking Invasive Tumor in the Nasal Cavity and Paranasal Sinuses	佐々木 智章	放射線科
107	Journal of Thoracic Imaging (2012,3)	Potential Direct Communication of the Lung to the Mediastinum: Computed Tomographic Evaluation of Pulmonary Venous Connections	佐々木 智章	放射線科
108	Journal of Anesthesia. (2011. 4)	Importance of model fitting when a non-commercial TCI system was used: taking Kataria's parameter as an example	國澤 卓之	麻酔科蘇生科
109	臨床麻酔 (2011. 5)	耳鼻科手術におけるレミフェンタニル投与下抜管の検討	山岸 昭夫	麻酔科蘇生科
110	麻酔 (2011. 5)	スガマデクスを使用後、短時間に再手術となりロクロニウム再投与を行った1症例	笹川 智貴	麻酔科蘇生科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
111	臨床麻酔 (2011. 5)	ICD植込み術中に発症した急性心タンポナーデの診断に経食道心エコーが有用であった1例	田中 博志	麻酔科蘇生科
112	臨床体温 (2011. 8)	新型テルモ体温計C205の測定精度に関する臨床評価 従来品(C202)との比較から	薬師寺 竜太	麻酔科蘇生科
113	臨床体温 (2011. 8)	病院用新型電子体温計C205(テルモ社製)の使用感に関する臨床評価 従来機(C202)との比較から	石山 えり子	麻酔科蘇生科
114	Journal of Anesthesia (2011. 8)	Administration of dexmedetomidine alone during diagnostic cardiac catheterization in adults with congenital heart disease: two case reports	國澤 卓之	麻酔科蘇生科
115	Canadian Journal of Anesthesia (2011. 8)	CORRESPONDENCE: Repeat dosing of rocuronium after reversal of neuromuscular block by sugammadex	松木 郷	麻酔科蘇生科
116	麻酔 (2011. 9)	「筋弛緩拮抗の新局面を考える」によせて	岩崎 寛	麻酔科蘇生科
117	日本臨床麻酔学会誌 (2011. 9)	筋弛緩拮抗の新局面を考える スガマデクスを使用後、短時間にロクロニウム再投与を必要とした4症例	岩崎 肇	麻酔科蘇生科
118	麻酔 (2011. 9)	重症筋無力症におけるスガマデクス必要量を検討した1症例	菅原 亜美	麻酔科蘇生科
119	Journal of Clinical Anesthesia (2011. 11)	Correspondence Regional anesthesia in anticoagulated patients Reply	國澤 卓之	麻酔科蘇生科
120	Anesthesia & Analgesia (2012. 3)	Letters to the Editor A Simple Alternative Method to Confirm Lung Separation.	鈴木 昭広	麻酔科蘇生科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
121	Annual Review 神経 2011 (H23.10)	各種疾患 脳腫瘍 脳腫瘍手術におけるfunctional neuronavigation	鎌田 恭輔	脳神経外科
122	Neuro Med Chir(Tokyo) (H23.6)	Hydrocephalus due to diffuse villous hyperplasia of the choroid plexus -case report	安栄 良悟	脳神経外科
123	Neurosurgery (H23.9)	A detailed analysis of functional magnetic resonance imaging in the frontal language area: A comparative study with extraoperative electrocortical stimulation	鎌田 恭輔	脳神経外科
124	World Neurosurgery (H23.5)	Angiographic classification of tumor attachment of meningiomas at the cerebellopontine angle	鎌田 恭輔	脳神経外科
125	Biocybernetics and biomedical engineering (H23.5)	Multimodal Neurosurgery force feedback system based on mesh fusion modeling	鎌田 恭輔	脳神経外科
126	脳神経外科速報 (H23.11)	私の手術論 脳機能の可視化への挑戦	鎌田 恭輔	脳神経外科
127	Neurol Med Chir (Tokyo) (H23.8)	Treatment of a cervical carotid pseudoaneurysm that occurred years after laryngectomy and irradiation of a neck tumor	鎌田 恭輔	脳神経外科
128	脳神経外科ジャーナル「微小脳神経外科解剖」 (H23.10)	DTI-based tractographyによる白質マッピングの脳神経外科手術への応用	鎌田 恭輔	脳神経外科
129	British Journal of Neurosurgery (H23.4)	Refined analysis of complex language representations by non-invasive neuroimaging techniques	鎌田 恭輔	脳神経外科
130	てんかん治療研究振興財団研究年報 (H23.6)	慢性硬膜下電極による脳資質電位計測を用いた側頭葉内側記憶関連野の機能解明	鎌田 恭輔	脳神経外科

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
131	日本口腔外科学会雑誌 (H23.8.30)	乳癌患者に発症した顔面部ガス壊疽の 1例	岡田 益彦	歯科口腔外科
132	日本味と匂学会誌 (H23.12.1)	粉末飼料による飼育で引き起こされた脳室下層の神経新生および臭覚機能の低下	宇津木 千鶴	歯科口腔外科
133	J Cardiothorac Vasc Anesth;(3):589-90 (2011Jun;25)	Intraoperative evaluation of visceral arteries by transesophageal echocardiography in Stanford B thoracic aortic dissection	丹保 亜希仁	救急科
134	ICUとCCU;35:167-73 2011	旭川医科大学病院での肺血栓塞栓症に対する新たな取り組み	小北 直宏	集中治療部
135	Palliative Care Research (H23.8)	がん対策基本法に基づく緩和ケア研修会の企画・運営および学習資料の問題点	阿部 泰之	緩和ケア診療部
136	Journal of Cardiothoracic Surgery (2011. 10)	Mucoepidermoid carcinoma of the lung: a case report.	北田 正博	呼吸器センター
137	World Journal of Surgical Oncology (2011. 10)	Role of treatment for solitary pulmonary nodule in breast cancer patients.	北田 正博	呼吸器センター
138	World Journal of Surgical Oncology (2011. 10)	Surgical treatment of intracystic carcinoma of the breast.	北田 正博	呼吸器センター
139	World Journal of Surgical Oncology (2011. 6)	Ectopic thymoma presenting as a giant intrathoracic tumor: A case report.	北田 正博	呼吸器センター
140	Surgery Today (2011. 5)	Sentinel Lymph Node Biopsy in Patients with Male Breast Carcinoma: Report of Two Cases.	北田 正博	呼吸器センター

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
141	World Journal of Surgical Oncology (2011.5)	Alpha-fetoprotein-producing primary lung carcinoma: A case report.	北田 正博	呼吸器センター
142	日本呼吸器学会雑誌 (2011.11)	難治性気管支喘息に対しオマリズマブ(Omalizumab)を投与した9例の検討.	南 幸範	呼吸器センター
143	日本臨床細胞学会雑誌 (2011.11)	乳腺微小乳頭癌の臨床病理細胞学的検討.	林 諭史	呼吸器センター
144	日本臨床細胞学会雑誌 (2011.5)	乳腺髄様癌の臨床病理細胞学的検討.	林 諭史	呼吸器センター
145	日本手術医学会誌 (2011.5)	当院で使用されている着脱式電源コードの実態調査	下斗米 諒	臨床工学室
146	Ther Clin Risk Manag. (2011.7)	Dexmedetomidine hydrochloride as a long-term sedative.	國澤 卓之	手術部
147	Antioxidants and Redox Signaling (2011.8)	Critical Roles of Cold Shock Domain Protein A as an Endogenous Angiogenesis Inhibitor in Skeletal Muscle	齊藤 幸裕	第一外科
148	北海道臨床工学技士会誌 (2011.9)	当院でのペースメーカー植込み患者の外科手術時対応について	宗万 孝次	臨床工学室
149	北海道臨床工学技士会誌 (2011.9)	低圧持続吸引器メラサキュームの保守管理	成田 孝行	臨床工学室
150	北海道臨床工学技士会誌 (2011.9)	超音波手術装置のハンドピース運用状況	宗万 孝次	臨床工学室

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
151	北海道臨床工学技士 会誌 (2011. 9)	電気メスの高周波漏れ電流測定について	山崎 大輔	臨床工学室
152	北海道臨床工学技士 会誌 (2011. 9)	当院における末梢血管インターベン ションの現状	本吉 宣也	臨床工学室
153	日本手術医学会誌 (2011. 11)	手術部物品管理システムを用いた術 式別収支分析	柴山 純一	経営企画部
154	J Anesth (2011. 12)	Dexmedetomidine can stabilize hemodynamics and spare anesthetics before cardiopulmonary bypass.	國澤 卓之	手術部
155	日本手術医学会誌 (2012. 2)	術式別収支管理に関する分析	柴山 純一	経営企画部
156	乳癌の臨床 (2012. 3)	乳腺分泌癌8症例の検討	松田 佳也	第一外科
157	Breast Cancer (2012. 3)	Histological grade as an alternative to the Ki67 labeling index is only available for luminal-type breast cancers	林 諭史	呼吸器センター
158	Int J Gen Med (2012年)	High rate of smoking in female patients with Mondor's disease in an outpatient clinic in Japan.	奥村 利勝	総合診療部
159	Intern Med (2012年)	Peritoneal loose body.	野津 司	地域医療教育 学講座
160	J Gastroenterol (2012年)	Epiploic appendagitis as an uncommon cause of lower abdominal pain.	奥村 利勝	総合診療部

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
161	Am J Gastroenterol (2012年)	Chronic right lower abdominal pain due to lumbar ossification of the posterior longitudinal ligament (OPLL) .	奥村 利勝	総合診療部
162	Inter Med (2011年)	Severe hyponatremia in association with I131 therapy in patient with metastatic thyroid cancer .	野津 司	地域医療教育学講座
163	Breast Cancer IF:1.363 (2012 Mar 31)	Histological grade as an alternative to the Ki67 labeling index is only available for luminal-type breast cancers.	及川 賢輔	病理部
164	薬学雑誌 (H23. 4)	薬剤師の病棟への配置は薬剤が関連するインシデントの発生を減少させる～国立大学病院における調査	松原 和夫	薬剤部
165	医療薬学 (H23. 8)	多規格が併売されている注射用抗がん剤の最適な採用戦略に関する研究	小野 尚志	薬剤部
166	日本病院薬剤師会雑誌 (H23.12)	薬剤師による疑義照会後の処方変更 および処方入力プロトコル 医療局長通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」の具体化	松原 和夫	薬剤部
167	医療薬学 (H24. 1)	薬剤師による麻酔科医支援業務 手術室における薬剤施用準備	山本 謙	薬剤部
168	Eur. J. Pharmacol. (H24. 2)	Oxicam structure in non-steroidal anti-inflammatory drugs is essential to exhibit Akt-mediated neuroprotection against 1-methyl-4-phenyl pyridinium-induced cytotoxicity.	田崎 嘉一	薬剤部
169	J Mol Neurosci (H24.3)	HRD1 levels increased by zonisamide prevented cell death and caspase-3 activation caused by endoplasmic reticulum stress in SH-SY5Y cells.	大村 友博	薬剤部

小計9件
合計169件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 松野 丈夫
管理担当者氏名	総務課長 小出 隆弘、会計課長 伊藤 恒明、経営企画課長 成田 昭夫、医療支援課長 阪井 誠、副薬剤部長 田崎 嘉一

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院事務部 経営企画課 医療支援課 薬剤部	コンピューターによる集中管理を行っている。 カルテ等病歴資料、外来・入院別に1患者1ファイル方式とし、エックス線写真は分冊になっているが1患者単位での管理を行っている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部総務課	
	高度の医療の提供の実績	病院事務部経営企画課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務部総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務部総務課 病院事務部経営企画課	
	閲覧実績	病院事務部経営企画課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院事務部経営企画課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院事務部経営企画課	
第規一則号第一に掲げる十一の第一項各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務部総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務部総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務部総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	病院事務部医療支援課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
	各号及び第九條	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務部総務課
	第二十三條	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部
	第一項	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第一号に掲げる体制の確保の状況	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務部総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	総務部会計課	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 千葉 博
閲覧担当者氏名	経営企画課長 成田 昭夫
閲覧の求めに応じる場所	経営企画部カンファレンスルーム

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医 師	延	0	件
	歯 科 医 師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	71.2%	算定期間	平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日
算出根拠 A: 紹介患者の数	10,308人		
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	5,967人		
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,197人		
D: 初診の患者の数	18,570人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
・ 指針の主な内容： (1) 安全管理の基本理念 (2) 安全管理組織体制の整備 (3) 部門の長の管理責任の明確化 (4) 診療マニュアルの活用(本編・携帯ポケットマニュアル) (5) インシデントと医療事故の用語の定義 (6) インシデント報告体制 (7) 医療事故発生時の対応 (8) 医療関連死・C P A-O A 症例の剖検に関する指針 (9) 医療相談窓口の設置 (10) 本指針改正の定義	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： (1) 医療事故防止対策の検討及び推進 (2) 医療事故防止の啓発活動(講演会等の企画立案を含む) (3) インシデント報告の調査及び分析を行い、その改善策を講じ、改善事項・周知事項の周知徹底を図る (4) 医療事故防止対策マニュアルの見直し (5) 医療の安全に関する最新情報及び警鐘事例の職員への周知	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 5 回
・ 研修の主な内容： 初任者研修(新規採用研修医・看護師)、新規採用医師・中途採用者の教育(看護師、事務職員、コ・メディカル)、ME 機器セミナー(輸液ポンプ・シリンジポンプ・心電図モニター・人工呼吸器他：全 4 回)、輸血実施手順講習会(2 回)、救急セミナー、糖尿病セミナー、院内講師・外部講師による講演会、各部門における安全の取り組み報告会&ポスターセッション(2 日間：内容別)、e-ラーニングで学ぶ医療安全	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 「医療安全ポケットマニュアル(第 4 版)」を発行した。 (2) 検査時に患者情報伝達不足による事例から、「情報伝達ケース」を作成し伝達することにした。 (3) 病棟において同姓同名患者の存在を表示するための方法を考え、ベッドネームへ掲載した。 (4) 特定の薬剤の受け渡しについて、専用の容器を使用した方法へ改善した。 (5) 「内服中の抗血栓薬の休薬に関するご説明と同意書」を作成し院内へ周知した。 (6) 「高齢患者への看護ケアについて」と題した講演会を開催した。 (7) 「核医学検査において放射性医薬品を投与された患者さんのオムツ等の取り扱いについて」を作成し院内へ周知した。 (8) 周産期病棟における「産科申し送りチェックリスト」を作成した。 (9) 安全対策のため、外来診察室の椅子を背もたれ付きの椅子へ更新した。 (10) 「医薬品の不適切使用と犯罪」と題した講演会を開催した。 (11) ベビー用凝固検体の提出方法を、スピッツとサンプリングチューブを一体にして提出する方法へ変更した。 (12) ベッドサイドに、「患者確認手順書」を貼り、必ず確認行動を忘れないようにし、また患者家族にも確認行動について協力を依頼した。 (13) 検体ラベルの判読困難な検体について、説明書を付け再提出を依頼することにした。 (14) 検体廃棄容器の前にラベルを確認するようにポスターを貼付した。 (15) 患者のベッドサイドなどへ、患者や家族がよく見える場所に現在の ADL を明記貼付することにした。 (16) 採血の場所を誤ったことから、部署間で検討し採血場所に関して取り決めた。	

<p>(17) 「心嚢穿刺術の方法 マニュアル」を作成した。</p> <p>(18) 同姓患者取り違え事例から、ベッドサイドに、照合、患者確認の手順を貼付した。</p> <p>(19) 使用済み哺乳瓶の使用事例から、表示・収納場所を改善した。</p> <p>(20) 持参薬の与薬忘れ事例から、病棟と薬剤部が共同し「持参薬チェックリスト」を作成した。</p> <p>(21) 混注されていない点滴を投与した事例から、「冷所保存」札を作成、また作成者と接続者を一致させた。</p> <p>(22) 保清中にドレーンの接続が外れた事例から、ドレーン挿入時の確認事項と患者ケア確認、また器材の構造と取扱について再学習をした。</p> <p>(23) 硬膜外持続注入の過剰投与事例から、「手術患者指示・条件指示表」を改正し、確認7Rの履行と確認を徹底した。</p> <p>(24) 造影CT検査時のチェックリストに妊娠項目を追加した。</p> <p>(25) 光学医療診療部へRDAを整備し、患者照合を強化した。</p> <p>(26) 「クランプ解放忘れ」の対策グッズを制作・配布し、対策のために使用を依頼した。</p> <p>(27) 外来患者の誤認防止策として、患者本人に「診療券」持参させ、診察時にはフルネームと「診療券」により本人を確認する方法とした。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (4名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<p>・所属職員： 専任 (5) 名 兼任 (6) 名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療の質の向上及び安全に関する事項</p> <p>(2) インシデントレポート等に関する調査・分析</p> <p>(3) 医療事故防止のための改善策の策定・実施及び周知</p> <p>(4) 医療調査委員会開催の判断</p> <p>(5) 院内各部署における医療安全管理状況の点検</p> <p>(6) 医療の安全性に係る教育および研修</p> <p>(7) 医療の安全に関する最新情報及び警鐘事例の職員への周知</p> <p>(8) 医療事故防止対策マニュアルの見直し</p> <p>(9) 医療安全に関する院外への情報提供</p> <p>(10) その他医療安全に関する事項</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">院内感染対策に関する基本的な考え方・感染制御部・ICTなどの組織的な取り組み院内感染対策のための職員研修に対する基本指針感染症発生状況の報告に関する基本方針院内感染発生時の対応に関する基本方針患者に対する当該指針の閲覧に関する基本方針その他の当院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 3 0 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">院内感染の予防に関すること院内感染の情報収集に関すること感染源の追及等のための検査実施に関すること防疫対策の確立に関することHIV感染症の医療体制に関することその他、院内感染対策についての重要事項に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 2 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">初任者研修オリエンテーション（講義）中途採用者研修（講義）手指衛生・PPE着脱演習（新採用者、中途採用者、各部署の教育担当者）院内感染対策に係る講演会針刺し防止対策教育	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">病院における発生状況の報告等の整備その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">微生物検査室と連携し微生物の新規検出状況を毎日把握しており、当該検出部署の感染対策マネージャーに連絡を行い感染予防策の実施について確認している。また、アウトブレイクが疑われる場合は菌種の遺伝子検査を実施し、同一菌種による発症事例が多数の場合は病院長に報告するとともに、保健所に報告する体制が構築されている。感染制御部における「適正な手指衛生・個人防護服の着用演習」について、新規採用職員、中途採用職員など病院職員全体に実施している。また、教育対象を外注職員に拡大するなど院内の感染対策に努めている。擦式手指消毒剤・手洗い石鹸の消費状況を院内に周知するとともに「適正な手指衛生・個人防護服着用の推進」に係る通知やポスターの作成を行い手指衛生の推進を図っている。医師、看護師、薬剤師などのICTメンバーによる感染制御チームを設置し、1ヶ月に4回以上院内ラウンドを実施し、各種の予防策の実施状況やその効果等の評価を行った。感染制御チームのラウンドのほかに、感染対策リンクナースとともに各部署の「感染対策オーディット」を行い、感染対策実施状況のチェックと指導を行っている。23年4月より感染制御部に専従医師1名配置となり、医師、薬剤師、看護師のチームで抗菌薬ラウンドを実施し、抗MRSA薬・カルバペネム薬の監視体制の強化を図った。24年4月より、本院を含めた旭川市内6医療機関での連携が開始され、合同カンファレンスの実施や相談体制などを構築した。	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 9 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 初任者研修 (対象：看護師：研修医) H23. 4. 1, 4, 5, 6 計80名</p> <p>(2) 新規採用医師並びに看護師の中途採用者の教育 74名</p> <p>(3) 医療安全に関する講演会 H23. 6. 28 330名</p> <p>(4) その他の研修会</p> <p>① 第1回事例検討会 (事例検討を通して医療事故防止を考える) H23. 9. 28 90名</p> <p>② 救急セミナー (救急カートの正しい利用を職員に周知する) H23. 11. 28 146名</p> <p>③ 各部門での安全への取り組み (報告会・ポスターセッション) H23. 12. 6-8 延べ674名</p> <p>④ 糖尿病セミナー (事例から考える糖尿病管理と介入の要点) H23. 10. 28 81名</p> <p>⑤ ME機器セミナー・栄養サポートチーム合同 (胃瘻造設の医学的理解と経管栄養の注意点を学ぶ等) H23. 7. 29、H23. 8. 12 計304名</p> <p>⑥ 第2回事例検討会 (事例検討を通して医療事故防止を考える) H24. 2. 29 87名</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>(1) 総則 (2) 医薬品の採用 (3) 医薬品の購入・管理 (4) 薬剤部における医薬品の管理</p> <p>(5) 病棟・各部門への医薬品の供給 (6) 外来患者への医薬品使用</p> <p>(7) 入院患者への医薬品使用 (8) 麻薬管理 (9) 院内製剤 (10) 他施設との連携</p> <p>(11) 医療事故防止および発生時の対応 (12) 教育・研修</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 厚生労働省医薬食品局：医薬品・医療機器安全情報</p> <p>(2) 日本製薬団体連合会：Drug Safety Update</p> <p>(3) 各メーカー・卸からの回収情報等の収集</p>	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
②従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年10回程度
<p>・研修の主な内容：</p> <p>定期研修 ME機器セミナー（低圧持続吸引器、シリンジポンプ、輸液ポンプ、人工呼吸器） 医療機器の安全使用推進者養成講座（シリンジポンプ、輸液ポンプ） 人工心肺操作時のトラブル対応シミュレーション 保育器の取り扱い説明会</p> <p>新しい医療機器の導入時の研修 人工心肺装置の取り扱い説明会 個人用水処理装置の取り扱い説明会 内視鏡装置に関する説明会</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・計画の策定 (有) 無</p> <p>・保守点検の主な内容：</p> <p>(1)シリンジポンプ、輸液ポンプ及び経腸栄養ポンプは中央管理による日常点検及び定期点検 (2)人工呼吸器は始業点検、使用中点検、終業点検及びメーカーによる定期点検 (3)血液浄化装置は始業点検及びメーカーによる定期点検 (4)除細動器は点検器具を用いた臨床工学技士による定期点検 (5)人工心肺装置及び補助循環装置は始業点検及びメーカーによる定期点検</p>	
④医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (有) 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 情報収集の方法 ①医療機器に関する情報提供のホームページを活用 ②医薬品医療機器情報配信サービス(PMDAメディナビ)の登録 ③メーカー主催のメンテナンス講習会への参加 ④医療機器に関連する学会への参加 ⑤メーカー担当者からの報告及び情報の収集</p> <p>(2) 情報の周知 ①定期的な報告（医療機器安全使用に関する検討会の実施） ②文書配付による通知 ③メーカー担当者から関連部署への通知の依頼</p>	